

ミッションステートメント

計測・制御・システムの中核学会として、

- ①諸分野を横断して知を究め、新しい価値を創造し、
- ②関連分野・産学官のハブとなり、発信・連携することで、社会的課題の抽出・解決に貢献する。

社会貢献:

計測・制御・システムに関する学術及び技術の進歩発達を図り、文化の向上並びに産業の発展に寄与する。そのために、国内外の若手人材を育成し国際的に卓越した成果を創出／提供し続ける場を構築するとともに、分野横断を推進し新たな価値を創造する。

会員への貢献:

計測・制御・システムに関わる会員の分野横断的な活動を支えるために、専門性深化と知的創造、情報の発信と交換、学術体系化、産学官連携推進などを効果的に実現できる場を提供する。

国際貢献:

Annual Conference (AC) 開催や英文論文誌発行を中心に、アジアそして世界における計測・制御・システム分野の研究・技術の発信と提案を進める。さらに標準化の推進において国際的役割を果たす。

学協会組織への貢献:

国内外の学協会連携組織および連携活動に参加し、関連学術・技術分野の縦横断的な連携の強化に取り組む。

基幹事業

- ・ Annual Conference(AC) 開催
- ・ 部門主催講演会、支部主催講演会等の開催
- ・ 部門・支部内各種事業および研究会活動
- ・ 各種セミナー・展示会・見学会開催
- ・ 関連国際会議、国内会議、展示会の共催・協賛
- ・ 国内外学協会・工業会等との連携
- ・ 学会誌、論文集発行
- ・ web等による情報発信
- ・ 技術者教育と資格認定
- ・ 標準化活動
- ・ 各種学会賞贈呈
- ・ その他

中期的課題

- ・ 社会の変化に向け、SICEが取り組む新しい価値領域の策定
- ・ Webやイベントを活用した学会からの情報発信の拡大による、SICEの社会に対する貢献の周知
- ・ 英文論文集およびACへの海外からの論文投稿、参加者の増大による真の国際性獲得
- ・ ACの定期的海外開催およびSICEに密接に関連する重要国際会議への積極的支援
- ・ 企業（賛助会員等）を対象としたイベント開催による情報発信強化
- ・ 部門と支部を中心とした会員管理の改善および会員数拡大
- ・ SICEの事業および業務の見直しによる収支適正化
- ・ 計測・制御・システム分野の人材育成および若手教育の強化
- ・ SICE60周年記念事業（2021年）の実施

2018年度事業計画（主な重点施策）

- ・ 付加価値を拡大、提供する（活動したい）領域を探す作業部会の発足と推進（企画委）
- ・ Society5.0でのSICEの役割明示とそのプロモーションのために、OS、WS開催や会誌発行による、メーカー、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信（部門、支部、会誌委、AC委）
- ・ 発信力強化のためのホームページの継続見直しと魅力あるコンテンツの充実（事業委）
- ・ 英文論文集の国際的評価基準（ESCI、Citation Index等）獲得へ向けた活動の継続（論文委）
- ・ 和文・英文の両論文誌の位置づけ、編集方針の戦略的見直しによる投稿数拡大（論文委）
- ・ SICE2018（奈良）での国際化推進イベントの企画（AC委）
- ・ AC（SICE2020）のタイ開催に向けた準備（AC委）
- ・ IMEKO2021、IFAC2023の開催支援推進（国際委）
- ・ SICE2018（奈良）に向けた広報の強化、プレゼン賞の新設および日本語WS併設の企画継続（AC委）
- ・ 会員、イベント(内容、参加者)の情報を広く活用できるDBの検討と整備（部門、支部）
- ・ 直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進（総務委、財務委）
- ・ 会員制度の見直し、並びにシニア世代活用による会員サービスの向上策の展開（事業委）
- ・ 部門及び支部が持つ知識・技術の活用による、基礎的、実務的な講座や講演会の開催（教育委）
- ・ Y60（SICE60周年記念事業）準備委員会の推進（総務委）